ヒブサーゴによる治療を受けられる患者さんへ

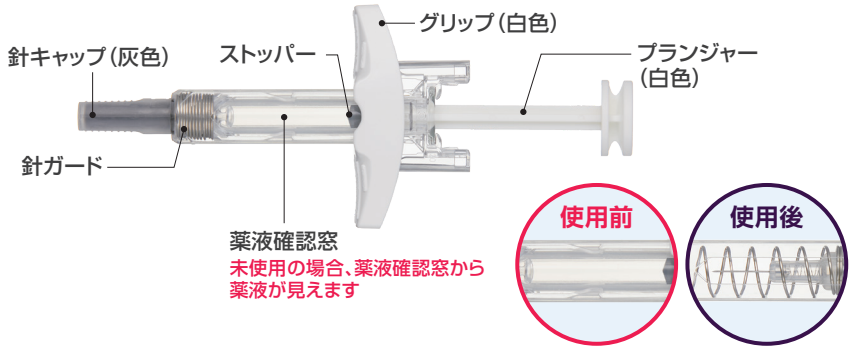
〈自己注射〉ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジの注射方法

本剤を適正にご使用いただくために、以下に記載された事項をお守りください。

編集協力：田中 靖人 先生 熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学講座 教授

- B型肝炎ウイルス持続感染の患者さんに対して1回あたり2本を投与します。
- **本剤投与中に血液学的検査および尿検査で異常が認められた場合は、用量を調節します。用量は担当医師の指示に従ってください。**

[ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジ]



【保管に関する注意】

- お薬の入ったシリンジは箱のまま必ず冷蔵庫で保管してください（冷凍しないでください）。
- 2～30℃で外箱に入れたまま保管することも可能です。薬剤が交付されてから12週間以内または使用期限のいずれか早い日までに使用し、使用しなかった場合は廃棄してください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に置かないでください。

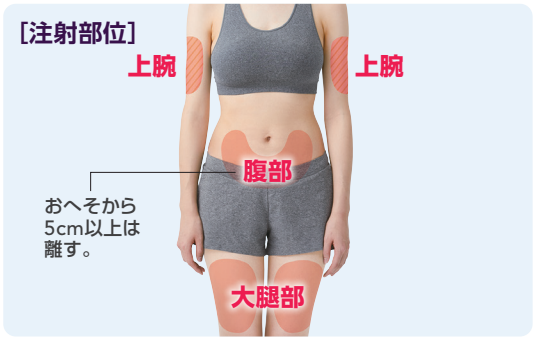
【取扱いに関する注意】

- シリンジを振らないでください。
- 落としたり、破損したりした場合は使用しないでください。
- 箱のセキュリティシールが破れていた場合は使用しないでください。

ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジの注射部位

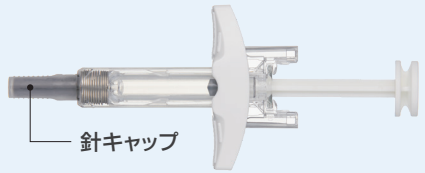
- 注射する部位は**「腹部」**、**「大腿部」**または**「上腕」**[注)]です。

注）介護者など患者さん以外の人が注射する場合は、上腕に注射することもできます。



1 ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジを室温に戻します。

- 使用するシリンジを冷蔵庫から取り出して、暗所で**室温に置いて30分以上待ちます**（30分以上待たなかった場合、プランジャーを押し込む際に大きな力を要し、投与がしづらくなる可能性があります）。
- **外箱から取り出した後、6時間以内に注射しなかった場合は使用しないでください。**
- 使用期限を過ぎている場合は、使用しないでください。



※ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジの針キャップは注射の直前まではずさないでください。

2 薬液を確認します。

- 未使用の製品であることを確認します。
- **薬液に濁りや粒子、異常な変色がみられる場合は、使用しないでください**（薬液は無色～黄色の澄明な液体です。いくつか気泡が入っているのは正常です）。
- シリンジを振らないでください。



3 注射部位を選び、アルコール綿で拭いて消毒します。

- 本剤を2本注射する場合は、それぞれ別の部位に注射します。やむを得ず同じ部位に注射する場合は、他の注射部位から5cm以上離れた箇所を選んで消毒してください。
- 同じ箇所に繰り返し注射しないでください。
- 皮膚が赤い、あざになっている、痛みがある、硬くなっている部位には注射しないでください。



（裏面へ続く）

グラクソ・スミスクライン株式会社
〒107-0052　東京都港区赤坂1−8−1

HIBSAGO

ヒブサーゴによる治療を受けられる患者さんへ

〈自己注射〉ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジの注射方法

4 灰色の針キャップをはずします。

- 針キャップをはずしたあとは、速やかに使用してください。
- 2本のシリンジの針キャップを同時にはずさないでください。
- 針キャップをはずしたあとは、**再度キャップをしないでください**（針刺し事故のほか、針曲がりや針折れにつながるおそれがあります）。
- 針が物に触れないよう注意してください。
- **この段階では白いプランジャーに触れないでください**（誤ってプランジャーを押してしまうと、投与前に薬液が出てしまい必要量を投与できなくなる恐れがあります）。
- 薬液中の気泡を取り除こうとしないでください。



5 注射を始めます。

- 片手でシリンジを持ち、もう一方の手で注射部位周辺の皮膚を優しくつまみます。つまんだ皮膚に、斜め45度に針を刺します。**つまむ際はつまんだ指に針が刺さらないようご注意ください。**
- この段階ではプランジャーを持たないでください（誤ってプランジャーを押してしまうと、投与前に薬液が出てしまい必要量を投与できなくなる恐れがあります）。



6 薬液を注入します。

- 人差し指と中指でグリップを握り、親指でゆっくりとプランジャーを押し下げて、薬液がすべて注入されるまで、プランジャーを押し切ります。
- プランジャーを、ストッパーがシリンジの底に達するまで完全に押し下げ、薬液がすべて注射されていることを確認してください。

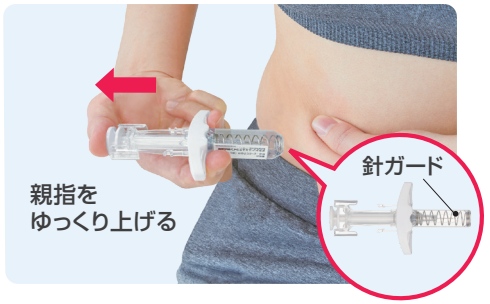




7 注射を終えます。

- シリンジを持ったまま、親指をゆっくり上げると、プランジャーが上がり、**針が自動的に引き上げられて、針ガードの中に隠れます。**注射が完了したら、つまんでいた皮膚を放します。

使用後は、針が針ガードに隠れます。
※再度キャップはしないでください。



8 注射部位を軽くおさえます。

- 注射部位をアルコール綿で軽くおさえます。
- 注射部位に少量の出血がみられることがありますが正常です。必要に応じて脱脂綿またはガーゼでおさえ絆創膏を貼ってください。
- **腫れることがありますので、注射部位をもまないでください。**



1回で1本を注射する場合の手順は、ここで終了です。

9 2本目を注射します。

- 手順4から手順8を繰り返し、2本目の注射を速やかに完了させてください。
- 2本目は1本目と異なる部位に注射してください。やむを得ず同じ部位に注射する場合は、1本目の注射部位から5cm以上必ず離してください。

注射が終わったら

- ヒブサーゴ皮下注150mgシリンジは、1回ごとの使い捨てです。使用後は再使用しないでください。
- **使用済みのシリンジ本体は医療廃棄物です。絶対に自己判断で廃棄せず、用意した廃棄ボックスに入れ、医療機関の指示に従って廃棄してください。**
- 針キャップはシリンジ本体に取り付けず、廃棄ボックスに入れてください。
- **治療終了時に、未使用のシリンジは医療機関の指示に従って廃棄してください。**
- シリンジ本体を分解しないでください。
- **お子様が触れないように注意してください。**

下記二次元コードの患者さん向けwebサイトで注射方法の動画もご覧いただけます。

NP-JP-836-BROC-260002-D2610N
作成年月2026年10月